




『日本包装機械工業会フォーラム 2018』プログラム

3) 医薬品関連セミナー【会場：Next-3 定員：80名】 お申込みはこちら >> <https://goo.gl/forms/nresMBm3i5vYI9103>

時 間	内 容	講 師
13:00	受付開始	
13:30 ～ 15:00	<p><第1部> テーマ： 「IoT 技術を活用した医薬品包装と遠隔診療のパラダイムシフト」</p> <p>内 容： 安倍首相は、2018年度から遠隔診療を診療報酬改定で評価すると明言しています。その本心は、在宅での服薬アドヒアランスを向上させ無駄な医療費を削減するために、遠隔診療のシステム整備を推進することにあると考えます。服薬不履行を解消し医療の効率化を図るためには、今までとは異なる非連続的な価値観から戦略を展開する必要があります。そのためにも IoT 技術を活用した医薬品包装技術により、医薬品の臨床的機能性を異次元へと進化させる必然性があると考えています。</p>	<p>講 師: 並木 徳之 氏 会社名: 静岡県立大学大学院 所属役職: 薬学研究員 薬学部 実践薬学講座 教授</p> 
15:10 ～ 16:10	<p><第2部> テーマ： 「日本版 GDP ガイドラインを考慮した医薬品の輸送品質対応」</p> <p>内 容： 医薬品のサプライチェーンのグローバル化に加え、日本の PIC/S 加盟に伴い、日本では「医薬品の適正流通基準（Good Distribution Practice/GDP）」ガイドライン対応が進展しています。この一環として、「今後、医薬品の輸送品質をどのように確保すべきか」にフォーカスし、規制当局に対する留意事項と演者の考えを報告します。</p>	<p>講 師: 池松 康之 氏 会社名: エーザイ株式会社 所属役職: グローバルクオリティ本部 日本リージョナル クオリティ統括部 シニアディレクター</p> 
16:20 ～ 17:20	<p><第3部> テーマ： 「医薬品の偽造防止「包材・RFID」周辺の最新技術」</p> <p>内 容： 医薬品の偽造防止・ブランドプロテクションに向けて、包材・セキュリティデバイス・ICT 技術を連動させた技術とその活用事例をご紹介します。併せて、ロットトレースや CRM などの利便性向上と拡張性を持ったソリューションも紹介します。導入部ではハーボニーの偽薬事件以降の状況も簡単に触れさせていただきます。</p>	<p>講 師: 松本 博 氏 会社名: 凸版印刷株式会社 所属役職: 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 販売促進本部 紙器販促チーム 部長</p> 

※本セミナーの内容は、予告なく変更することがございますので、予めご了承ください。